

新潟県 公民館月報

昭和57年1月号

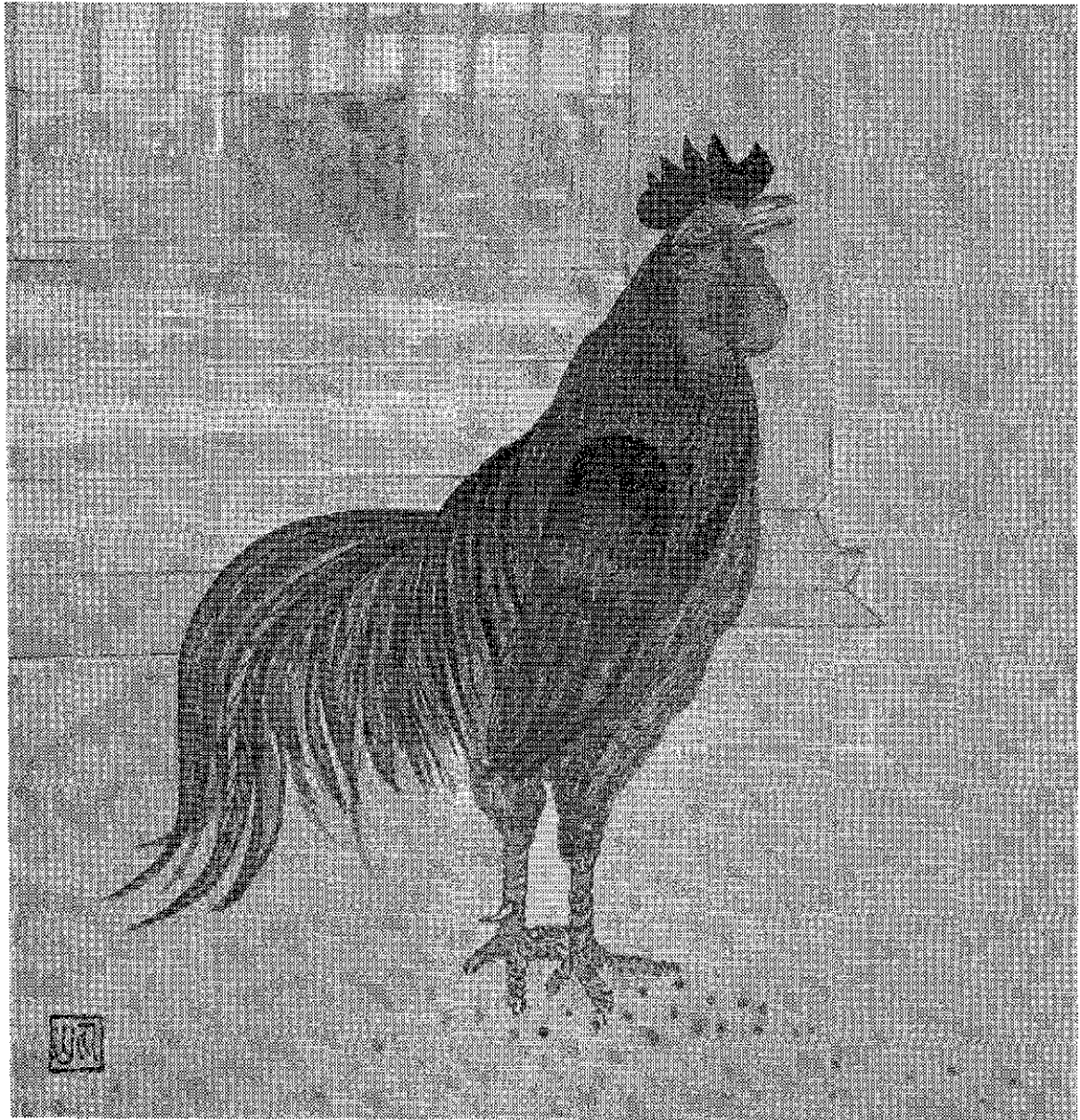
発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4049】

発行人 会長 石井 耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 90円 年共・年極 1,080円】



蜀 鶏

本県原産の天然

記念物「蜀鶏」は、

戦後その数、質と

ともに減少し、県で

も保護と増殖につ

とめられ、黒埼町でも減少

した「蜀鶏」の増殖を図る

ために「黒埼町蜀鶏日本鶏

保存会」を設立し、保護、

増殖につとめました。

おかげで、年々飼育数も

ふえ弥彦村で開かれた県の

大会やその他の品評会に参

加し優秀賞を受けるまでに

なりました。

この「蜀鶏」はNHKテ

レビに放映された「蜀鶏」

の鳴合わせに参加した雄姿

絵・黒埼町寿学級生

丸山 喜一郎

文・黒埼町公民館主事

池 乗 清市郎

第30回全国公民館振興大会



(シンポジウムで活躍する新潟市の大河内芳子さん)

予算要

求前哨戦

行革がらみで盛上り欠く



記念講演中の井上靖氏

第三〇回全国公民館振興大会が、全国から参加した市町村長など公民館の関係者八〇〇名をあつめ、さる十月四日東京の赤坂プリンスホテルで開かれた。本県からは、小千谷、白根市長など二〇名の関係者が参加した。

当日は新しく就任した文部大臣の小川平二氏、公民館振興国会議員野呂誠会長の海部俊樹、長谷川峻、渡辺恒三、渡辺栄一、藤本原の大河内芳子さんは、元文部省社会教育局長、大学教授などにあたる。山内昭子代議士方も顔を見せたが、行政改革がらみの厳しい情勢を反映して、早々に退出した。

また例年のおおりに、公民館関係者に対する表彰式が行なわれ、本県からは優良公民館職員として大河内芳子さん、翁鍋中忠、永年の勤続職員として川島雅夫（即大和町公民館長）、戸瀬壽司（前湯沢町公民館主事）が表彰された。

午後からの「生涯教育と公民館」と題してのシンポジウムで、本県の大河内芳子さんは、「元文部省社会教育局長、大学教授などにあたる。山内昭子代議士方も顔を見せたが、行政改革がらみの厳しい情勢を反映して、早々に退出した。」と発言した。

「最近考えていること」と題しての記念講演を開く。井上氏は「シルクロードとは細い一本の道をいうのではなく、東西文化の交差点全般をいい、巨大な歴史が通りすぎていった道であるとし、正しい史観にもとづく考察の必要」を強調した内容で感銘をあたらせた。

最後特別記のような宣言、決議を繰返して打ち上げた。

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内容
教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。
A 5判34ページ 1部 300円（送料実費）

◎お申し込み先
〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252 (24) 6073



宣 言

中央教育審議会が本年6月11日、文部大臣に対して行った「生涯教育について」の答申の中で、人間が資質・能力を伸ばし、主体的な成長・発達を遂げるため、その学習機会と場を提供する責務は、国および地方公共団体にあるとし、これら生涯教育の中核的推進の任務は、公民館をはじめとする社会教育施設であると明言している。即ち科学技術の進歩や、国際関係の緊密化など、社会・経済の急速な変化、地域住民の教育的・文化的要求の増大、余暇時間・高齢化社会の到来等、刻々に進展する現代社会に即応した、生涯教育機能の充実こそ喫緊の急務といわねばならない。

かかる現状にたつて、生涯学習の中心的施設である公民館の、施設・設備の整備と、公民館職員の充実を期し、生涯教育時代に対応し得る公民館体制を確立すべく、全国公民館連合会創立30周年を卜し、ここに第30回全国公民館振興大会を開催した。

よつて、これらの当面する緊急課題が速刻実現され、公民館の画期的躍進が図られるよう、関係方面へ強く要望するものである。

右宣言する。

昭和56年12月4日

第30回全国公民館振興大会

決 議

われわれは、第30回全国公民館振興大会の宣言に基づき、次の事項が确实かつ速やかに実現実施をみるよう、ここに決議するものである。

1. 昭和57年度公民館施設費補助金107億2,000万円の実現を期する。

1. 公民館職員の専門職制を確立し、館長・主事の常勤専任制度を義務化する。

1. 地方交付税における公民館費の、算定基準を抜本的に改善し、測定単位費置の大幅増額をはかる。

右決議する。

昭和56年12月4日

第30回全国公民館振興大会

参加者一同

色紙(表紙絵)募集

公民館の絵画教室での傑作、利用グループの中で絵をよくする人の作品など、なるべく多量で書かれたものを。絵の内容は「名勝旧跡、文化財」などのほか、表紙によさしいものであればなんでも結構です。説明文は四百字程度でお願いします。

昨年、願書届けてくる町内の役員(組長)ききとめたことから、久方ぶりに、町内の秋まつりのみこし行列に参加してみました。



温 故 知 新

小 泉 幸 作

ふかきさつてみますと、役員をはじめ、青年も婦人も老人も、多々の人々が、よまよいとわづたやったものだと感じています。

時代のことを思い出し、あらためて「公民館」とは何をするところかというところを深く考えさせられました。

私は、これまで、やれ技術革新だ、都市化だ、生涯教育だ、高学化社会だ、その時々の社会現象に氣をくわすてきたつもりです。

私の住まひは、新潟市の中心街から約十三キロ距離離れた郊外で、町内人口は約二、五〇〇人、そのうち職業者や若者が約一割。そのほか、昭和四十年後半からこの地に住むようになった人たちがいます。

共同休であった時代と違い、計画から実施まで、数次に亘る会議や、準備のための作業に大変な時間と人手を必要とするようになった。

その結果は、この祭りになり、市民生活に大きな効果をおさしている。私は、私が道場としての機能も果たしていることを、その意味で、公民館である。

公民館の誕生した理由と社会的な意味を確かめることが必要なのはなんでしょうか。申しあげるまでもなく、それは地域の活性化、民主主義の訓練であり、市民生活の向上に資するものがある。

最近の体験から、あえて拙見を述べさせていただきます。

一、公民館の役割は、市民生活の向上に資するものがある。

二、公民館は、市民生活の向上に資するものである。

三、公民館は、市民生活の向上に資するものである。

四、公民館は、市民生活の向上に資するものである。

受賞の記



大河内 芳子

「嫁が勉強なんかすつから生活意気なる。」とこんな言葉が聞かせる。一方、自分達の家族の暮しているこの町の発展には、自分達が働かぬばと目耀日といわず、夜間といわず精神的に奮闘する町の人達の郷土愛と連帯、そして先輩の職員に支えられて今日まで歩いてまわりました。

生きがいを創る

ある町の町長さんが「生きがい」とは「いるか」「だぞおっしやって」か、か、人として生を受け「ゆるかゝ」のある人生を歩み続けたいために互いに尊重し合う社会を醸成するため、公民館の役割は大きいと思ふ。

私は昭和三十七年新潟市教育委員会職員として採用され、三十八年から松浜公民館に勤務しました。当時訪問集金の重要性がいわれ、個人の自宅や集会所を会場に原写会や生活改善のための学習会に依つたものでした。

「おら、チンパンと無敵だが食ふてこんでもてきな生活きた、なんだ今更楽じゃ。」

(新井市中央公民館 第一事業係長)

とその解決方策(3) 第3回全公研集会分科会の記録から

と地元の拠出金、館長は無給である。

- ・公民館の運営パターンに違いがあり、職員についても、自治体職員、嘱託職員と立場がことなる。どこをとらえて専門性を論ずればよいのか。
- ・自治体職員(市町村吏員)にしぼって専門性を考えてはどうか。
- ・資格の有無で専門性は云々できない。教育への情熱にかかわって考えるべきだ。

助言・朱膳寺 かつて全公連の第2次専門委員会が審議した内容で、専門職員が確保できることが公民館の条件であるとした。公民館の合理化傾向は歴史的にもさびしいことである。公民館の共通理解を考えて、あるべき姿を希求しながら、職員の専門性を論じては。

- ・市の行政から社会教育課にきて婦人教育を担当、現在公民館に勤務している。社会教育はやりがいのある仕事だ。ただ給与、待遇などで魅力ある職場にしたい。そのことが職員の意欲をたかめる。

成瀬 専門性の課題を検討整理して公研集会等で要望をつづけていくべきだ。

- ・公民館職員は土・日曜の休暇がとれにくい。なにかよい方策はないものか。

林 給与体系を社会教育職員のみ別わくにするのはいかがなものか。せめて公民館主事が2等級まで昇給できるシステムが欲しい。公民館主事は仕事上自由裁量の余地が広い。それを教育的にどう対処していくかが専門性ではないだろうか。

- ・福岡市では公民館と市民センターはどう違うのか。
- ・市民センターの施設管理は市、指導業務は教育委員会が担当。公民館は小学校区をエリアとする校区公民館である。

助言・岡本 正規職員とボランティアのあるべき職務のパターンを考えたい。ボランティア立場の人が正規職員のかた替りをするのはよい傾向ではない。

- ・専門職位置づけ、待遇等も理事者の理解しだい。理事者に理解をうる努力を。

助言・岡本 中央公民館は連絡調整館と考えたい。ただ地区館の上位にあるものではない。自主グループの学習活動については、方向性、モデル性をあたえていく

こと。専門性とは余人をもってかえがたい内実である。この内実を主事がつちかかっていくことが大切。公民館は学習社会の中で生残れるか、お茶・お花系列の学習だけでは、他機関との競合が多い。

(5) 施設管理、経営について

- ・公民館は施設管理面で“カタ”さがあった。条例・規則による事は大切だが、広い視野で利用を促進すべき。公民館の地域管理はこれからの方向だろう。

助言・朱膳寺 公民館で酒は飲めるのか。(挙手により状況を把握、禁酒の館が多い。)

助言・朱膳寺 平均的には22~23時迄閉館している公民館が多い。東京周辺ではアルバイト、警備員委託のケースがあるか。

- ・管理人の勤務時間以外は警備員に委託している。又機械システムの警備もある。
- ・管理人の業務内容について
- ・施設の貸出、電話料、ガス料金の徴収及び主事退庁後の簡易な業務にあたる。

(6) 自主グループの育成

- ・自主グループの育成について公民館の配慮すべきことは。
- ・自主グループの最初2か年は中央公民館で、それ以後は校区公民館、自治公民館の利用をすすめている。
- ・高齢者大学受講→大学院→自主グループと、グループ化を図るが、グループ数が多く、施設利用で競合がおきてきた。

3. 助言者のまとめ

朱膳寺 公民館への転任は左遷ではないとの意識づくりをしていきたい。給与、手当、昇任等で優遇することが左遷コンプレックスの排除につながる。かつて解放された公民館が管理された公民館に変容しているのではないか。管理、運営の規則整備も必要であるが、気持のかよいあいのある弾力的運用こそ望まれる。公民館での飲酒も活動のふんい気作り程度であれば寛容であってもよいのではないか。

公民館は市民の自主性の根づき方で、教育施設としての力量を自己診断してみよう。地域(市民)の自主性を伸ばすために、館長・主事は黒子的存在として機能しよう。

明るく親しみのある

役所臭くない公民館に

柏崎市中央公民館の現在の施設に、入口部分を広く入設し、昭和四十七年四月十五日、入設し、さらにロビーに竣工、開館してから、この1ヶ月、利用団体相互に、日常的な交流を促進するなどは、利用団体以外の一般市民の、この十年間、三千三百日開館した、二万六千件、七十三万からを気軽に利用した、一日平均八件、二百二十人の利用となる。

柏崎市では、この選給等にあたる公民館である。中央公民館の竣工、地区公民館の施設整備が着実に進められ、今春に竣工が予定されている中、高浜地区を加えると十五地区の公民館が整備され、それらの施設に魂を入れ血をかわせることが今後の課題となっている。

公民館番頭日記

(10)

一月末には工事が完了するが、従来の公共施設には珍らしい明るい模様の一画、高級カーペットを敷きつめた公民館のロビーは、この館の主人公である市民の何よりのプレゼントではないかと思うと、この公民館を所長く、明るく親しみのある市民に広く開かれた公民館とするための職員のあり方を、あらためて考えよう。今である。

従来は通電室を兼ロビーにしていたが、さらに利用しやす

(柏崎市中央公民館 参事兼事務長 徳岡助夫)

都市における公民館の管理・経営の問題点

参加対象 主事(前回は館長)
 司会者 石川県公民館連合会長 佐藤 令久
 助言者 立教大学教授 岡本 包治
 社会教育コンサルタント 朱膳寺 春三

基調発表

1. 東京都国分寺市立恋ヶ窪公民館主事 林 和夫
2. 名古屋市港社会教育センター社会教育主事 成瀬 賢爾
3. 沖縄県那覇市中央公民館長 浦本 茂則

1. 基調発表

(発表1) 独立地区館としての体裁と内実

ア. 国分寺市公民館のあゆみ

国分寺市の特色は独立地区館体制にあるといえる。それぞれの地区館に課長級の常勤館長を置き、各館に専任職員を擁し、個別に運営審議委員会を設置している点は、三多摩でも他に例がない。地区館の増加にともなって1館あたりの職員数、運営審議委員定数が減じられた。

イ. 地区館としてのあるべき姿

地区館のあり方の中で、中央館→地区館という形式をとれば、中央館を中心とした活動となり統一的対応は保障されるかも知れない。しかし、地域民主主義という点から考えた時、独自の職員、予算、運営審議会と決裁権を地区館がもち、地区館として独立していることに勝るものはない。

(発表2) 社会教育センターにおける管理、経営の現状と問題点

ア. 名古屋市の社会教育行政日標

施設の整備、学級講座の開設、資料の提供、適切な指導・助言体制の確立等の施策を進めている。現在社会教育センター7館、公民館が2館ある。

イ. 今後の課題

- ① 小学校区、行政区、全市域など各段階における施設配置とその管理、運営。
- ② 市民の多様化する学習欲求にこたえるために各施設間の有機的な連携。
- ③ 情報・資料の系統的整備。
- ④ 事業内容の見直し。

(発表3) 公民館の管理、経営について

ア. 那覇市公民館活動の目標

- ① 英知と創造に富む市民。
 - ② 進取の気性で行動する市民。
 - ③ 連帯と協調の精神を発揮する市民。
- 事業は小中学校、市民会館、自治公民館で実施。

イ. 自治公民館の活動

地域住民の自治活動として戦前から「村屋」と呼ばれ、各々の行事、学習、その他集会等の自治活動を展開してきた。現在は廃虚の中から復興し、コミュニティづくりの拠点となっている。

ウ. 今後の期待

- ① 国・県事業補助の定額補助を定率補助に改定された。
- ② 国の公民館建設補助率の拡大。

2. 討議内容

(1) 提案についての質疑

・国分寺市の高齢者事業団委託費の目的について。
 林 公民館報、市報、議会だよりの配布を高齢者事業団に委託している。委託費30万。

・国分寺市の自主グループへの補助は。
 林 補助金17万。昨年は65グループのうち18グループが補助を受けた。各グループ1万。

(2) 公民館職員の専門性について

・各地では公民館主事の専門性の問題について、どうとりにくまれているか。

林 国分寺市では48—50年までは、社会教育職員の別々採用(社会教育主事有資格者)を実施したが、条例化はされていない。

成瀬 名古屋市では教職経験者から社会教育主事になる場合が多い。公民館主事については、公民館主事研修を実施して各施設に属している。

浦本 那覇市の場合、社会教育主事有資格者を採用、まず主事補とし、3年経過後社会教育主事となる。社会教育職員の首長部局配転は考えない。

助言・岡本 専門性を論ずる場合、内容・領域的な専門性と身分上の専門性と2つの課題がある。後者の場合、昇進制度とかかわる。

助言・朱膳寺 公民館主事の多くが3年位で配転する。3年で専門性が身につくかの課題がある。公民館主事の現職教育を強化したい。

・石川県の場合、派遣社会教育主事がまだ全市町村にいきわたっていないので、増員を要望している。

・能力、希望等を考慮しない異動が多い。公民館主事に生がいを感ずる人を大切に。

・公民館指導員の職務や経歴について

浦本 那覇市では現在6人の公民館指導員がいる。教職経験者で、担当主事を補佐している。司会・助言も行う場合がある。

(3) 公民館をめぐる諸問題

・図書館と公民館が併設の場合

林 公民館長と図書館長が兼務であり、無理があるようだ。

・公民館運営審議委員の報酬について

成瀬 名古屋市では委員1人当たり4万、報酬総額は40万(5,000円×8回×10人)

浦本 那覇市では委員1人当たり2万、報酬総額は24万(5,000円×4回×12人)

(4) 職員の問題について

・社会教育法を改正して公民館主事を必置にしてほしい。次善の策は専門職採用ができるよう条例規則を整備すること。専門職にふさわしい給与体系を確立する。職制を確立すること。

・行政全般に専門職化傾向がある。公民館主事の専門性とどうかかわって考えればよいか、専門性の根拠となるものは。

・福岡市の公民館主事制に嘱託主事がある。今後校区公民館では嘱託主事に切替っていく。

・金沢市では地区公民館の主事は、公民館長が採用する。主事の給与は市が負担。館の運営費は市の補助金

十日町市川治地区公民館



交 流

新生公民館繁盛記

(14)

公民館は花ざかり、これまでにすでに二十一館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもう少しご紹介いたします。

と連帯の場

生涯にわたる学習センター

十日町市公民館は、四十六年に本館が完成以来七つの地区館を年次計画で改築しており、川治地区は、住民から新館建設の声が高まるとともに、多様化した住民の要望にこたえるため五十二年に工し五十二年春に開館した。

建物物は鉄筋二階建てで、おとしよりの方に気配に使っていただけ川治地区は市街地に隣接してあり新田住民の顕著な世帯数二千五百、人口約九十二の地域で、ため交流の場として、また連帯感を高める場として気配に使えるよう

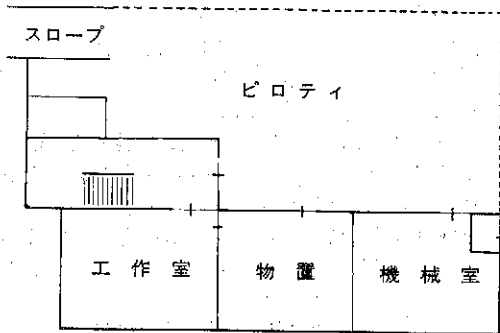
木時代に比べ四倍強にも達している。賞館は四十団体が昼夜利用し特に夜は福杯で、時々お断わりしなければならぬ状況である。新田住民の混在している地域の

配慮しているが、みんなの公民館として利用してもらったため利用団体代表者の会をもち、利用日の調整やまのりについて話をしたり、要望を聞いたりして公民館に対する理解を深めてもらっている。地区内には地区館と分館四つが活躍している。地区館の本年度の主な事業としては、学級講座では夏休み子どもの広場、青年講座は全体学習と三つのコース、料理教室は昼・夜のコース、盆歌小謡、焼物、健康教室、書きつけ、書道講座、老人講座では教壇と王芸のコース、そして各種講座、講演会、映画会等、その他地区全体としての体育大会、敬老会、娯楽大会等があり、文化祭では、学習の成果を発表する場と

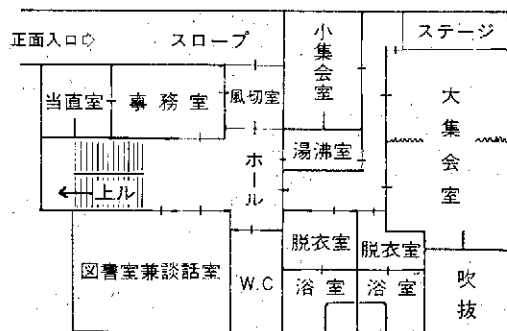
し、協賛行事を体育協会、婦人会等各種団体と一緒になって地域の連携を高めよう。新しい館になって利用が増えたことは、部員数が増えたり目的に合わせて利用できるよう、設備が良くなったことで、職員体制が良くなった(館長は非常勤、職員二名と用務員、夜は常勤)夜間は準備がいろいろと利用しやすい。施設設備が良くなり事業が幅広くできるようになった。これからの地域の人たちの交流と連帯の場として、子どもからおとなまで、生涯にわたる学習のセンターとして、地域とともに公民館活動を発展させていきたいと念じている。

川治地区公民館館長 波形卯二

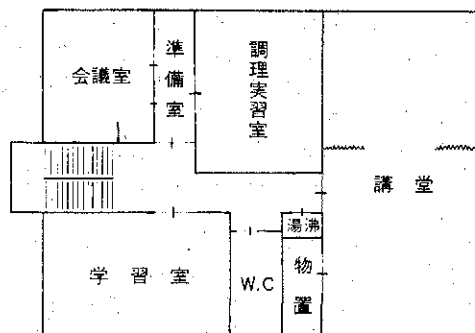
1 階 平 面 図



2 階



3 階



長岡市日越公民館で発行している「ひごし」は昨年九月号で発刊三〇周年を迎え、通巻四八一号を超えた。通巻四〇〇号を数える公民館報は少なく、おそらく県内随一の長寿館報と思われる。

ことに創刊号以来、一貫してB5判ガリ版刷りというオンソドックスなスタイルを守り続けていることも特徴。

昭和三〇年から同三十七年まで同館長として活躍した片桐幹夫氏は、記念号で次のように述べている。「故人森茂樹館長の指導のもとで編集責任を仰せつかった当時の気負った意気込みを思い出します。敗戦後の困難を乗りきろうとする日越村挙げての新しい村づくりのお手伝いをするような気持ちでした。いま思い出しても爽やかなものがあります。」

現在は、長岡市の地区館のひとつとして徳茂徳一館長のもと、佐藤善司理事が中心となり月刊発行のため努力している。

この館報の見事さは、地域住民自らの執筆によるナマの原稿が主流となっており、まさに住民主体の意気込みが感じられる点にある。

生きています 公民館報

館報ひごし

(3) 第472号

とじよりとじとのふれあい

わらエ芸と私のこころ
 中村 幸子
 わらエ芸は、昔から日本人の生活に親しまれてきた文化の一つです。私は、この文化を通じて、人々の心を癒やし、笑顔を取り戻すことを目指しています。

たのしかったわら工作
 中村 幸子
 わら工作は、手紙を書くのと同じように、心を込めて作るものです。完成した作品を見ると、自分が作ったという達成感が溢れます。

夢の実現
 大石 大川 川 幸子
 私の夢は、いつか自分の小さな店を開くことです。それは、地域の人々を大切にし、温かいおもてなしを提供したいからです。

ものを作り方を習う
 大石 大川 川 幸子
 手芸の教室に通うことは、新しい知識や技術を学ぶ機会です。仲間と一緒に学ぶ楽しさは、想像以上のものです。

縄なまを習って
 大石 大川 川 幸子
 縄なまは、古くから伝わる伝統的な遊びです。友達と一緒に遊ぶことで、コミュニケーション能力が鍛えられます。

もの作りか
 大石 大川 川 幸子
 手芸の作りかには、細心の注意を払う必要があります。一つ一つの工程を丁寧にこなすことが、美しい作品を作る鍵です。

を習う
 大石 大川 川 幸子
 新しいことを学ぶことは、人生を豊かにしてくれます。教室での学びは、日常生活にも活かせる貴重な経験です。

(1) 第471号

昭和56年9月15日発行

「公民館報ひごし」 発刊30周年を讃へ

—地区民とのきずなを努力—
 日越公民館長 徳茂 徳一

公民館報「ひごし」は、昭和30年9月15日創刊された。今年で発行30周年を迎える。この30年間は、地域住民の生活や文化の発展に努めた。これからも、地区民とのきずなを努力し、よりよい公民館報を発行してまいります。

10月15日	11月8日	12月22日	1月10日	1月17日	2月5日	2月12日	2月19日	2月26日	3月5日	3月12日	3月19日	3月26日
公民館報発行	町内総会	バレーボール大会	民間文芸発表会	敬老会	献血の日	少年野球大会	少年野球大会	少年野球大会	少年野球大会	少年野球大会	少年野球大会	少年野球大会

ひごし

87月号
 発行
 新潟県公民館協会
 第471号

血液の
 液はひるがる
 明るい郷土



プロフィール

小須戸町中央公民館主事 白井 見氏 (35才)

「もしもし公民館です。白井さんをお願いします。さきか挨拶めいたものを感じがよくなることを希望します。」

朝から鳴る電話は殆んど白井主事の用件である。口によつては数十通ということもまれではない。明るい爽やかな声で、これを書き置きと処理して行くことは一つの特技とも言いたい。

三十五才。二児の父であるが、ハンサムで若々しい風貌。昭和十五年主事に就任。養老期にあつた古い公民館の孤壁を守つて以来十二年のキャリアを持つているだけに、いろいろの苦労も十二分に味わつている。当時集のようになつて彼のまわりは集まつて来た若者たちが今なお固い絆のつきの下に手と足となつて社会活動に協力を播きまします。

お母さんやおお寄りの信頼も厚く、そのおかげか、いさかか嫉妬めいたものを感じさせられることさもある。性来のことも好き、児童や生徒達にも人気があり、にこやかな笑顔がもたらす公民館へ出入することもあり。アイディアに富んだ企画力、事務処理の速さ、的確さ、加えて、又、書、画等の優れた天分は多様性なされて見事なものである。視聴覚の活用もお手のもので、カメラ、映写、ビデオ等の技能の修得、伝説、関係クルーナの養成等の成果も大きい。

スポーツはゴルフ以外は総べてOK、マージャン、パチンコ等のギャンブルも人並にやるが、賭博と職輸だけは経験がない由。

たつたつと正統といつべき欠点は、酒席では絶対歌わないことであつた。ところが最近さういふ趣向を求めたものからカウチのマイクを握るようになって来た。どうしてか、どうして大した様で、すっかり周囲に賞賛されている。

総会席を引かれ、まあ九十八点、正しく小須戸町社会教育の星と評された。

(前小須戸町公民館長 関野 長知)

あの頃のこと

振り出しの回顧(2)

読書運動の推進

猪股 武雄

やはりあちこちの肝入りで、戦金を借したらどうか」と散々油後いり早く各席に一館づつCIEを絞られたことがありました。本図書館が設置され、本県ではその貸出しは出納方式で、読みたい分館が数ヶ所設けられました。英語の分らない私がその手伝いもさせられた時は聊か神経を痛めました。女の館長が分館に出掛ける時は、ジープに乗せられてお伴をされました。接待に出されるビールを館長に吞ませないようにするのには、通訳が随分苦労していました。道中の生理現象を気づかっていたのは、佐渡金沢のプランチ行き、あちこちの船とジープで半日ほどは返りでした。あの頃英会話の勉強でもすればよかったものを、やはり能力がなかったのです。

金をとった図書館

その頃の図書館はどこも入館料をとっていました。県立の場合三十銭、携田券は三ヶ月有効で交付を受けるのに二十円必要でした。二十六年三月から無料となりました。いつの年であったか、「せめて読書週間の間だけでも無料」と提案、時の財政課長に同様の図書館など、若い社会教育関係者に好評のような話でしょう。

「夢よもう一度」

図書館の隆昌促進、公民館図書室の充実、読書会の普及のため、渡辺館長と真因を名脚したり、中央館、線を結成していた加藤宗厚、一因立図書館長、昨年九月二十一日八十二才で逝去。葬儀には全国図書館人が会葬されたという。

詩

富士

浅間 勝衛

富士は在る

晴れた日ばかりではない

視野暗く

視界の塞がれた煙霧のときにも

ひとびとの日には見えぬが

富士は在る

たたえられている時はかりではない

い説誘され

武田虎之助「文部省専門が、中食のうどが言ひ言いとおもき取るのが惜しくてそのままお蔵入り。晩年鶴岡大学教授兼図書顧問。四十九年十一月七才で逝去。川崎繁「図書館法制定当時の文部事務官。後、青少年教育課長を経て現国立教育委員会事務局次長。有山保「日本図書館協会事務局長。等々抱いての講習会。長時県立図書館長沢清介「後の日本図書館協会事務局長。松本市立図書館長小笠原忠義が目的でありましたが、その再発足いたしましたので、何んを招いての親子読書会の研究等多彩でありました。小笠原館長は、母子の読書会のテキストをレクチャーしてテキストを用いてやりました。戦後の日本図書館界をリードされた加藤師範所大きな杖を助けて呉れました。

「夢よもう一度」の大部分は戦後公民館図書室として、松本市立図書館長小笠原忠義が目的でありましたが、その再発足いたしましたので、何んを招いての親子読書会の研究等多彩でありました。小笠原館長は、母子の読書会のテキストをレクチャーしてテキストを用いてやりました。戦後の日本図書館界をリードされた加藤師範所大きな杖を助けて呉れました。

の登山者に事故があったとしても

富士は知らぬこと

何億年かの中に地殻変動がおき

陸地が水没してでもしまわぬ限り

富士は在る

ときにも

ひそひそ人びとに嘲られている

おらぬが

われわれの精神に影をうつしては

古くに股がり

虚空を映す鏡のように

富士は在る

ことではないか

登山ブームに隔らされた一にぎり

資料 歓迎

公民館で作成した資料や文芸作品または雑誌などを送ってくださいますか。県内の皆さんへも紹介してまいります。お返事をさせていただきます。

投稿 歓迎

感想文なども結構、折にふれて気軽に、心を走らせてください。採用文には粗品を差していただきます。

編集部

あとがき

本紙は、この種の機関誌としては長命であり、新聞記者による月刊発行を継続しているという点でも特徴があるといわれています。

編集長は毎週三代目、年間の一般事業を執行しながら、月刊紙を編集していくという二刀流のような作業は、大変といえは大へんでもあります。ひとつの使命感のようなものに支えられ、また現場からパルスとしての貴重な原稿に支えられてやっています。それにも四八〇号を超えた「館報の心」には感謝のほかありません。(本)